

## ダイちゃんの店&営大祭のお知らせ

農産物直売所「ダイちゃんの店」は、定期直売実習として、学生が消費者との対面販売を通じて農産物直売のノウハウを身につけることを目的に行っており、今年で14年目になります。

7月から11月までの計5回開催予定です。販売品目は、トマト、きゅうり、だいこん、ごぼう、ながいも、ぶどう、りんごなどを予定しています。当校自慢の野菜や果物をぜひご賞味ください。

### 開催日程

| 回数  | 月日        | 時間                         | 出店場所         |
|-----|-----------|----------------------------|--------------|
| 第1回 | 7月5日(金)   | 10:00~11:30<br>13:30~15:00 | 道の駅<br>「七彩館」 |
| 第2回 | 9月6日(金)   |                            |              |
| 第3回 | 9月20日(金)  |                            |              |
| 第4回 | 10月4日(金)  |                            |              |
| 第5回 | 11月22日(金) |                            |              |



ダイちゃんの店での農産物販売



営大祭での農産物販売

「営大祭」は、10月26日の土曜日、27日の日曜日に開催され、農産物販売も行います。

学生が丹精込めてつくった営農大学の農産物・畜産物を取り揃え、皆様のお越しをお待ちしています。

# 営大通信

第53号  
令和6年6月28日

発行  
青森県営農大学校興農会  
会長 小川 広徳  
青森県営農大学校後援会  
会長 秋田谷 和智  
青森県上北郡七戸町字大沢48-8  
TEL 0176-62-3111



## 校長挨拶

皆様、はじめまして！

あたたかな季節が訪れる中、営農大学の校長として皆様と一緒に歩んでいくこととなりました松江と申します。学生が放つエネルギーとメッセージをしっかりと受けとめて成長に導いていきますので、どうぞよろしくお願いいたします。

さて、本校は、「地域農業の中核的担い手となり得る農業経営者」と「農業を支える多様な人財」を養成することを教育目標としています。農業に携わろうとする若者が、技術と経験を積み重ねて、未来を自由に描き、社会で成功するための基盤づくりとスキルを磨くことができる実践的教育機関です。

現代の農業が直面している生産者の高齢化や労働力の減少、グローバル化、気候変動といった様々な社会情勢や課題に対応しながら、次世代が継承していくためには、広く深い視野とハイレベルな技術が求められています。

このため、本校では、本県の主要品目に対応した基本技術だけではなく、マーケティングや六次産業化、IT技術を取り入れた作業機による農作業や生育状況等の管理システムなどによるスマート農業、りんごの高密度植わい化栽培などの新たな技術の学習にも取り組んでいます。

ここでの二年間は、農業関係の世界で活用できる技術と経験を積み重ねる期間です。「実践」「創造」「友情」の校訓の下、自分の夢と目標に向かって、楽しみながら、真剣に学び、挑戦し、実践を重ねることで、未来は必ず切り開くことができます。

本校の学生が「青森県農業を担う力」として成長できるよう、教職員皆で一緒にサポートしていきますので、保護者並びに関係各位の御支援と御協力をお願い申し上げます。

この度、営農大学の後援会長を務めることになりました秋田谷和智です。現在、農業の高齢化・担い手不足が進む中、本年度も若さと情熱にあふれた33名の新生を迎えることができ、誠に喜ばしい限りです。

後援会としても、次代の青森県農業を担う学生を温かく見守りながら、教職員との連絡を密にして営農大学を応援していきたいと思っておりますので、皆様の御支援、御協力のほどよろしくお願いいたします。最後に、学生達の思いが青森新時代、青森県農業の発展につながることを期待しています。

## 後援会長挨拶



この度、営農大学の後援会長を務めることになりました秋田谷和智です。現在、農業の高齢化・担い手不足が進む中、本年度も若さと情熱にあふれた33名の新生を迎えることができ、誠に喜ばしい限りです。

後援会としても、次代の青森県農業を担う学生を温かく見守りながら、教職員との連絡を密にして営農大学を応援していきたいと思っておりますので、皆様の御支援、御協力のほどよろしくお願いいたします。最後に、学生達の思いが青森新時代、青森県農業の発展につながることを期待しています。

ホームページ [https://www.pref.aomori.lg.jp/soshiki/nourin/einodai/top\\_page](https://www.pref.aomori.lg.jp/soshiki/nourin/einodai/top_page)又は「ようこそ営大」で検索。

| 校長   | 教頭   | 総務課  |   |
|--|--|--|---|
| <br>松江 利英 | <br>豊川 良昭 | <br>畠山 和徳 | <br>三浦 夏帆 |
| 教務研修課  |  | 農産園芸課  |   |
| <br>佐藤 武  | <br>内村ゆき美 | <br>成田 治  | <br>對馬 慶  |

## 新任職員紹介

転出・退職者  
(校長) 蝦名 照仁  
(教頭) 佐々木伸介  
(総務課) 中村 元春  
古林 素子  
(教務研修課) 松川 佳澄  
関 みち子  
(農産園芸課) 小島 一之  
雪田 隆史

## 行事予定

- 8月25日(日) オープンキャンパス
- 10月26日(土)・27日(日) 営大祭
- 12月24日(火)・25日(水) 校内プロジェクト発表会



営大Facebook QRコード

ホームページ [https://www.pref.aomori.lg.jp/soshiki/nourin/einodai/top\\_page](https://www.pref.aomori.lg.jp/soshiki/nourin/einodai/top_page)又は「ようこそ営大」で検索。

## 令和6年度入校式

令和6年4月10日



新入生代表の葛西さん



在校生代表の川浪さん

令和6年4月10日、令和6年度青森県営農大学校入校式が行われ、小谷副知事をはじめ、来賓、保護者が見守る中、畑作園芸課程21名、果樹課程10名、畜産課程2名、総勢33名の入校生がこの日を迎えました。

松江校長は式辞の中で、「社会において成功するための基盤を作るものであり、自分の夢と目標に向かって、楽しみながら、真剣に学び、挑戦し、実践を重ねることで、必要とされるスキルを磨いていくことができます。また、実習や自治会活動を通じて、自分とは異なる多様な価値観や考え方を持つ仲間との友情を育ててください。ここでの友情は、将来、一緒に活動することや相談などに繋がっていきます」と激励しました。

入校生を代表し、畑作園芸課程1年の葛西陽奈子さんが、「仲間と共に勉学・実習に励み、地域に求められる人材として、青森県の農業の発展に貢献します」と誓いの言葉を述べました。

一方、在校生を代表して、学生自治会長である畑作園芸課程2年の川浪莉玖さんが、「新しいことに挑戦したり、友達と遊び悔いなく卒業できるよう、良い思い出をたくさん作ってください」と歓迎しました。

Uターン者や他産業からの新規参入等の就農希望者を対象とした「あおり農力向上シャトル研修」の開講式を5月7日に行いました。

この研修は、就農希望地域の先進農家で研修を進めながら、営大で行われる講義や機械研修等を受講し、実践的な農業技術や作物の基礎的知識を身につける「シャトルコース」と、新規就農者等が知識や技術の学び直しを行う「リカレントコース」の2つのコースからなっています。

本年はシャトルコースに3名、リカレントコースに2名、合わせて5名の受講者が開講式に臨み、研修を開始しました。

シャトルコースの受講者は来年2月末までの10か月間、農家研修や講義及び農業関係に係る免許・資格の取得などを通して、様々な経験を積み重ね、実践的な知識や技術を身に付け、新規就農への夢の実現に向けてスタートを切りました。

## あおり農力向上 シャトル研修 開講式

令和6年5月7日



シャトル研修開講式



野菜1DAYセミナー

## りんご高密度植わい化栽培 実践農場の設置

令和6年5月9日



りんご高密度植わい化栽培 実践農場  
事業名：新りんご栽培技術普及共同事業  
実施主体：青森県営農大学校、JA全農あおり



本年度、果樹課程ではJA全農あおりと共同で本校の農場にりんご高密度植わい化栽培実践農場を設置しました。

高密度植わい化栽培は、一般のわい化栽培より樹の植付間隔を狭めることにより早期多収で生産性が高く、栽培技術が単純で新規就農者でも取り組みやすいことから新たな栽培方法として注目されています。

本校では高密度植わい化栽培の導入は初めてで、約10aの農場に令和8年までの3か年で計400本の苗木を植える予定です。この農場を活用し、JA全農あおりと連携し、学生に実践的な栽培技術を指導します。

5月9日には実践農場に苗木を定植するセレモニーが開催され、宮下知事が出席し学生を激励しました。学生は、JA全農あおりや(株)原田種苗から苗木の定植方法の説明を受け、宮下知事と一緒に「ふじ」と「シナノゴールド」の苗木を50本ずつ定植し、順調に生育するように丁寧に作業を行いました。

5月31日には側枝の管理や施肥について実習を行いました。不要な枝の剪去や側枝の誘引の仕方など最初は戸惑う学生もいましたが、担当した樹をきちんと管理していました。

近年、現地でも導入されている高密度植わい化栽培は学生の関心も高く、プロジェクト学習の課題としても取り組まれています。今後も実践農場を活用して、実践的な技術習得や後継者育成に取り組んでいきます。



知事と定植作業を実施



JA全農あおりによる側枝誘引の指導



知事と果樹課程の学生と一緒に記念撮影